



単元名	『鳥獣戯画』を読む	4時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知識及び技能) ○事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に押さえ, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思考力, 判断力, 表現力等) ○目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり, 論の進め方について考えたりすることができる。(思考力, 判断力, 表現力等) ○事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思考力, 判断力, 表現力等) 	
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○実況中継風の書き出しや体言止め, 問いかけなど, 読者を引き付けるために, 筆者が表現を工夫していることを捉え, 自分の文章表現に生かすことができる。 ○文末表現に着目し, 「事実」と「意見」を区別することができる。 	
学習課題	筆者の工夫をとらえて読み, それをいかして書こう。	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりに『鳥獣戯画 17紙』の解説文を書いた後, 本文1~3段落を読み, 筆者の表現との違いを見つける。単元の終わりに, 筆者の表現の工夫を生かして, 『鳥獣戯画 18紙』の解説文を書く。 	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○比喩や反復など, 表現の工夫に気づいている。 ○事実と感想, 意見などの関係を叙述を基に押さえ, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○筆者の表現の工夫を生かし, 『鳥獣戯画 18紙』の解説文を書くことができる。 	

学習活動計画

時	内容	活動 (子どもの活動)	ポイント (教師の支援)
1 本時	導入	(めあて) 鳥獣戯画の解説文を書き, 筆者と比べよう。 ○『鳥獣戯画 17紙』を見て, 気づいたことを発言する。 ○自分なりに解説文を書く。 ○友達と解説文を読み合う。 ○本文1~3段落を読み, 筆者の解説文と比較する。 ○学習課題を知り, 学習計画を立てる。	○数名に発言させ, ウサギやカエルに着目することを共通理解する。 ○タブレットにワークシートを配付する。 ○共通点や違いを見つける。 ○筆者の解説文を10点中で評価させる。
	家庭学習課題		
2	展開①	(めあて) 筆者の主張を見付け, 要旨をまとめよう。 ○本文全体を音読する。 ○段落の数を数える。 ○一番大事な段落を選ぶ。(筆者の主張: 9段落) ○9段落が一番大事だという証拠を見付ける。	○グループで読み方を選ばせる。 ○「一番大事な段落はどれか」と問う。 ○9段落最後の一文の「人類の宝」という主張を確認し, 理由を見付けさせる。
	家庭学習課題		
3	展開②	(めあて) 筆者の表現の工夫を見付けよう。 ○1段落を音読し, 表現の工夫を見付ける。 ○1枚目の絵と本文との対応関係を読み取る。(2段落) ○2枚目の絵と本文との対応関係を読み取る。(5, 6段落)	○「実況中継風の書き出し」「体言止め」 ○ワークシートで, 絵と文章を結び付けながら関係を読み取らせる。
	家庭学習課題		
4	終末	(めあて) 表現を工夫して, 解説文を書こう。 ○本文全体を音読する。 ○筆者の表現の工夫を確認する。 ○7段落の筆者の言葉である「今度は君たちが考える番だ。」に応え, 『鳥獣戯画 18紙』の解説文を書く。 ○友達と読み合い, 自分の解説文を10点中で評価する。	○グループで読み方を選ばせる。 ○解説文を「ストーリー」「絵の描き方」「評価」の構成で書かせる。